

第5回 鹿児島駅周辺土地利用検討委員会 概要

日 時：平成24年11月29日（木） 13時30分～15時10分

場 所：鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室

出席者：【委員】宮廻委員、北崎委員、多々良委員、林川委員、江良委員、
堀之内委員、白男川委員、内村委員、小原委員、春山委員、
高山委員（代理） （計11名）

※委員長が必要と認める委員以外の者の出席（砂田氏）1名

【事務局】市街地まちづくり推進課長、市街地まちづくり推進課主幹、職員

内 容：

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）これまでの経過

（2）協議

①鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）について

②その他

（3）今後のスケジュール

（主な意見等）

- ・憩いの場所として、桜島が目の前にある絶好のロケーションを生かすため、いろんな機能の物があるよりは、「緑の空間」「市・にぎわい」ゾーンを一体的な芝生広場として汎用性を高め、花や草を生かした自然な形で、心が落ち着く空間作りをした方が良いのではないか。
- ・固定的な形で決めても、状況が変わって当初の予定どおりいかないこともあるので、マーケットやニーズの検討を行い、施設の内容や必要性を決定するなど段階的に進めてもらえたらと思う。
- ・中核的な複合施設については、目的をはっきりとさせて時間をかけて慎重に議論していくことが望ましい。
- ・磯地区が世界文化遺産に登録された場合に、どこかに世界文化遺産の全容が見られるような場所が確保されるべきだと思う。
- ・鹿児島では桜島の降灰があつたりするので屋根付きのイベント広場はあってよい。
- ・観光客が桜島を眺望できるように展望スペースの設置を検討してほしい。
- ・都市の杜については、当初、鹿児島らしい緑がふんだんに盛り込まれ、その景観や自然、環境が他のどこにも無いような鹿児島らしさを帯びた雰囲気の魅力

を持ったものであるべき、との議論があった。

- ・他の場所でもあるような芝生広場ではなく、これまで育んできた緑の並木道の終着点として、観光、景観の両面において素晴らしいものにした方がよい。
- ・鹿児島県の真夏の日差しは強いので、緑陰は必要だと思う。
- ・樹木を多く植栽する中で、防犯面について考慮する必要があると思う。
- ・緑化については「シンボルツリー」があるだけでもイメージとしては良くなるのではないかと思う。
- ・鹿児島県には50を超える民族芸能があるが、これらが衰退している。その原因としては演じる場所がないというのが一つの理由だと思う。守るには緑の空間と広場で桜島を背景とした絵になる場所が必要。
- ・参加型の市民活動の場になるような空間が欲しいとの話もあり、そういう機能を集約する形で施設が出来ていくべきだと思う。

4 閉会